

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
4	川を大切に思う沢田さん	<p>1 沢田さんが自費留学を行ったことから感じたこと疑問に思ったことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自費留学をしてまでも、沢田さんが伝かったものは何なのだろう。 </div> <p>2 資料を元に課題追究をする。 ・環境庁の全国名水百選に選ばれ、また河川で唯一の水浴場にも選定されている。この長良川の美しさを伝えたい。 ・鵜匠は「宮内省式部職鵜匠」と呼ばれ世襲制を守っている。信長や家康に保護されるなど僕らがよく知っている権力者に守られてきた。 ・世界遺産に登録をして、この鵜飼いを多くの人に知ってもらいたい。</p> <p>3 本時のまとめをする。 ・長良川の美しさと古くからの伝統このどちらも伝えたいのだと分かった。</p>	<p><イー> 沢田さんの生き方を知り、自分が調べてみたい視点を持ち、資料を1つ選択して自らの考えを持っている。</p> <p><場面> 学習活動2の後</p> <p><方法> ノートの記述</p>	<p>全国名水百選一覧 全国水浴場一覧</p> <p>鵜飼関連年表(自作)</p> <p>いくつかの資料が関連づけて見ている生徒を評価し、全体に紹介する。</p> <p>援助:「長良川の美しさ」では名水百選での川が選ばれている数、「伝統のある鵜飼」では鵜飼が始まった年代に着目させる。</p>
<p>1300年もの伝統がある鵜飼いのすばらしさは、この長良川があってこそその者であると思う。世界遺産登録の夢を実現させたいことから、鵜飼いを通して英語という手段で岐阜県を世界の人に知ってもらおうとしているのだな。僕も自然環境の豊かなこの岐阜県を発展させる方法をともに考えてみたいと思う。</p>				
5 6	岐阜県調べ学習	<p>1 岐阜県について既習学習をもとにして調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 今の岐阜県の産業や文化について、自然環境と人々のくらしとかがわからせて調べよう。 </div> <p>2 自然条件、社会条件を中心に調べる。 ・文化(世界遺産白川郷合掌集落)(高山祭り) ・産業(関の刃物)(多治見の陶磁器)(高鷲の大根づくり)(美濃和紙)(輪中)</p> <p>3 調べて分かったことを、前時に学習した自然環境と人々のくらしとかがわからせて特色をまとめよう。</p>	<p><ウー> 岐阜県の産業や文化を、自然環境と人々の暮らしに関連づけて、地図や統計、その他の資料を用いてまとめている。</p> <p><エー> 岐阜県の産業と文化が発達している市町村を地図で示し、その発達した理由を山と水に関連づけてまとめている。</p> <p><場面> 学習活動2の後 授業後</p> <p><方法> ノートの記述</p>	<p>地図帳 資料集(小学校資料岐阜県のくらし) インターネット資料、図書館資料</p> <p>援助:岐阜県の産業や文化について、知っていることを述べさせ、その市町村を地図で示し、「山と水」をキーワードにまとめるよう助言する。</p>
<p>観光客数が減ってきてても伝統を守る面と、観光として発展させていくことどちらが今の鵜飼いに大切なのだろう。</p>				
7	岐阜県の姿	<p>1 調べたことを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 岐阜県について調べたことを自然環境と人々のくらしとかがわからせて発表しよう。 </div> <p>・高山祭りは、冬の長い飛騨において人々が春の訪れを待ち望んで始まった祭りである。伝統を守り通していくために地元の人が積極的に参加をしている。 ・高鷲の大根づくりでは、900mの高地という涼しい気候を利用している。毎日1000本くらいの大根を抜く農家もある。 ・関の刃物では、きれいな水を利用して発展した。また、最近ではリサイクルも大切にしている。</p> <p>2 仲間の意見を生かし、岐阜県の特徴をまとめることができる。</p>	<p><ウー> 岐阜県の産業や文化について調べてことを整理・選択して、聞いている側に分かりやすく説明する表現の方法を検討し、まとめている。</p> <p><場面> 学習活動2の後</p> <p><方法> 発言内容</p>	<p>各自発表資料</p> <p>援助:仲間の意見を聞くことにより、新たな視点にも気づけるよう助言する。</p>
<p>岐阜県を代表とする産業や文化もその自然環境を生かしたもので、また鵜飼いで沢田さんのようにそれらを残し発展させていこうとする人がいることも分かった。</p>				

